

生命(いのち)のメッセージ展とは

生命のメッセージ展とは、殺人、悪質な交通事犯、一気飲ませ、いじめ等により理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役＝メッセンジャーとなり、「未来へつながる命」を守るためのメッセージを伝えるアート展です。生前の写真とメッセージ文が添えられた犠牲者の方の等身大の人型パネルはメッセンジャーと呼ばれ、足元に遺品の「靴」(足跡＝生きた証)を置いて、無念にも命を喪い、生きたくても生きられなかった犠牲者から「未来につながる命」を守るためのメッセージを伝えています。

いのち 生命の メッセージ展

THEIR LIVES WERE TOO SHORT.

入場
無料

in 京都学園大学

つながれ つながれ いのち



メッセンジャーとは・・・

犠牲者の等身大の人型パネルです。生前の写真とメッセージ文を添え、足元に遺品の「靴」(足跡＝生きた証)を置いて、無念にも命を喪い、生きたくても生きられなかった犠牲者からの「未来につながる命」を守るためのメッセージを添えて、感じてください。

2016年4月21日(木)、22日(金)、23日(土)

【時間】 10:00～15:30

【場所】
京都学園大学
太秦キャンパス

21日 会場: 北館1階 中央ラウンジ
22日 会場: N304教室
23日 会場: 北館1階 中央ラウンジ



入退場自由

映画「0(ゼロ)からの風」上映会

2016年4月22日(金) 10:30～12:20

京都太秦キャンパス 4階 N406教室



生命のメッセージ展代表である鈴木共子さんの実話を元にした映画です。19歳の一人息子を、無免許、飲酒運転、車検切れの暴走車にはねられて喪った母親が、「命の重さを」法律の中に反映させてほしいと、「悪質な交通事犯の厳罰化」を求め「危険運転致死傷罪」の新設を成し遂げるまでの闘いや生命のメッセージ展の誕生の背景等が描かれています。

参加申込不要

講演会・シンポジウム

講演内容など詳しくは裏面をご覧ください

「亀網集団登校交通事件から4年、学生とともに今一度、交通犯罪被害者について考える」

講演会・シンポジウム

2016年4月23日(土) 13:00~15:00

京都学園大学 京都太秦キャンパス 北館3階 みらいホール

参加申込不要

「亀網集団登校交通事故から4年、学生とともに今一度、交通犯罪被害者について考える」

講演

児島早苗氏 (NPO 法人 KENTO 代表、生命のメッセージ展参加家族)

※ KENTOとは、**K**ー交通事故を **E**ー永遠に **N**ーなくす **T**ー友達の **O**ー輪

パネルディスカッション

「大学生の目からみた交通事故、犯罪被害者」

児島さん、亀網集団登校交通事故遺族、京都学園大学学生代表で、学生の視点から聞きたいこと、そして、犯罪被害者の視点から若者に聞きたいことを語り合います。

亀網集団登校交通事故とは

2012年4月23日朝、京都府亀岡市の府道で、市立安詳小学校の集団登校の列に、当時18歳だった無免許の少年が運転する軽乗用車が突っ込み、小谷真緒さん(当時7歳)、横山奈緒さん(当時8歳)と付き添いで妊婦だった松村幸姫さん(当時26歳)と胎児が死亡、児童7人が重軽傷を負った。遺族は、少年に罰則の重い危険運転致死傷罪の適用を求めたが、少年は自動車運転過失致死傷罪などで起訴され、懲役5年以上9年以下の不定期刑とした大阪高裁判決が確定した。ほかに事故に絡み、少年5人が逮捕された。うち同乗の1人は執行猶予付き有罪、車の所有者は罰金25万円、3人が中等少年院送致などの保護処分となった。

主催 京都学園大学、特定非営利活動法人いのちのミュージアム

共催 京都交通事故被害者の会 古都の翼

後援 京都府警察本部、(公社)京都犯罪被害者支援センター、文部科学省、法務省、警察庁、国土交通省

会場アクセス

京都学園大学
京都太秦キャンパス

京都市営15分圏内 太秦天神川駅 下車徒歩3分

京福嵐山本線 嵐電天神川駅 下車徒歩5分

※公共交通機関でお越しください



▶ 生命のメッセージ展に関するお問い合わせ

京都学園大学 広報課
E-Mail/kouhou@kyotogakuen.ac.jp
TEL / (075)-406-9122



京都交通事故被害者の会 古都の翼

すべては学生のために。
京都学園大学
KYOTO GAKUEN UNIVERSITY
www.kyotogakuen.ac.jp